



利水、治水のためになくてはならない井堰（稗柄堰、上木佐木下）

水の流れを作ることが水の浄化につながるのではないかと考えがありますが、水利権の問題、国営幹線水路の形態もあり、集落内の

水路に水の流れを常時作っていくことは、現実的に厳しいかと思えます。行政と住民が一緒になり維持管理をしていくために、

取り組みやすい体制と土地改良事業により大きく変化した水環境を踏まえた形で、長期的、広域的な視点に立った管理保全を検討していく必要があると思えます。

堀の浄化の点から井堰を管理することは難しい

花宗川水系は花宗太田土木組合、山ノ井川水系は筑後川土地改良区と町から関係地区の方へ管理のお願いをし、排水管理も同様に行っています。

井堰は河川や国営水路、クリークの要所に設置していますが、農用水や保安用水の確保、そして関係地区の流れの慣習により管理されており、特に管理員の方に協議や指導などは行っていない。

クリークは利水、治水を優先したものである中で、浄化のために水を流すなどの管理は難しいのではないかと思います。

こえ 傍聴者より



お疲れさまでした。大川市の議会は傍聴したことがありましたが、我が大木町の現状を知りたくて、今回はじめて傍聴させていただきました。バイオガスプラント、イオン九州、町立保育園等々、たくさんの問題に関心があり、注目していました。開議10分前から様子を見学。議員の皆様も早くから待機しておられ、ピンと張り詰めていました。

中ノ森議員の一般質問、イオン九州出店の件について、町長が答弁。2年半に及ぶこの件については、農政局からの判断待ちとのこと。たくさんの複雑な問題もあり、慎重に進めていただきたいものだと思います。土地改良後の現状もなかなか難しいようで、私は今まで何も考えていなかった・・・と反省しました。

用事があり、残念ながら今回は1時間ほどの傍聴でしたが、次回もまた必ずきちんと傍聴します。町民一人ひとりがもっと大木町を知り、愛してほしいなと思いました。ありがとうございました。

野田茂美さん（大角西）

次回定例会は9月中旬の開会予定です。日程、議事内容などの詳細については、町ホームページ（9月上旬掲載予定）をご覧ください。議会事務局（TEL32-1013）までお問い合わせください。